

## 《ペチロルファン筋注を用いた和痛分娩の説明・同意書》

当院では、「ペチロルファン配合注」を筋肉注射として使用した和痛分娩を行っています。

### 【効果と特徴】

- ・ペチロルファンは、オピオイド系鎮痛薬である「ペチジン塩酸塩」と「レバロルファン酒石酸塩」を組み合わせた薬です。
- ・ペチジン塩酸塩には、中等度から高度の鎮痛作用に加え、鎮静作用や鎮痙作用があります。注射後 10～20 分で現れ、約 2～4 時間効果が持続します。
- ・レバロルファン酒石酸塩は、ペチジンに伴う呼吸抑制（麻薬特有の副作用）を、鎮痛効果を保ったまま軽減します。注射後 10 分以内に現れ、約 2～5 時間効果が持続します。

### 【期待される効果】

- ・陣痛の痛みが軽減し、不安が和らぐことを目的とします。効果には個人差があります。
- ・完全に痛みがなくなるわけではありませんが、痛みが軽減され、うとうとした状態で分娩に至る場合があります。

### 【副作用およびリスク】

- ・眠気、吐き気、めまい、ふらつき、呼吸抑制などが起こることがあります。
- ・薬剤は胎盤を通過するため、出産直前に投与した場合、赤ちゃんに呼吸抑制が生じる可能性があります。

### 【投与時の注意】

- ・投与中は、母体の酸素飽和度モニターおよび胎児心拍・陣痛モニターを装着します。
- ・初産、経産婦に関係なく、希望されれば分娩のどの時間からでも行えるものではありませんが、基本的に初産婦さんで子宮口がまだ堅いけれども痛みがとても強く疲弊されている場合や、破水などで促進剤を 1 日使用し夜を迎えたけれどもまだ時間がかかってしまう場合の休息目的に使用します。
- ・原則 導入に際し 1 回のみの投与を基本とします。
- ・投与後 3 時間以内に出生した新生児については、投与後 3 時間まで酸素飽和度を継続的に測定し、呼吸状態を慎重に観察します。異常が認められた場合は、速やかに適切な処置を行います。
- ・36 週での BMI が 30 以上の方、妊娠高血圧、甲状腺疾患合併の方は使用を控えさせていただきます。  
また、分娩や手術、処置が立て込んでいるとき、分娩室の兼ね合いにより対応できないことがあります。  
土曜日、日曜日、祝日に対応できない場合もあります。                      ご了承ください。

### 【費用について】

- ・ペチロルファンを用いた和痛分娩は自費診療となり、費用は 1 日あたり 1 万円です。

### 【同意について】

- ・本書の内容をご理解いただき、ご本人とご家族、配偶者の意思で同意された場合のみ実施します。
- ・ご不明な点がございましたら、医師または助産師にお気軽にご相談ください。

私は上記の内容を理解・納得したうえで、ペチロルファン配合注の筋肉注射による和痛分娩に同意します。

同意日   ：    令和       年       月       日

妊婦氏名   ： \_\_\_\_\_

配偶者・ご家族   ： \_\_\_\_\_